

## 愛情の関係スケール Affective Relationships Scale: ARS

### マニュアル ARS Manual

ARS の理論的な背景, 信頼性, 妥当性などについては, 以下の文献を参照されたい.

- ・高橋恵子 (2002). 生涯にわたる人間関係の測定 - ARS と PART について. 聖心女子大学論叢 98, 101-122.
- ・Takahashi, K. & Sakamoto, A. (2000). Assessing social relationships in adolescents and adults: Construction and validating the Affective Relationships Scale. *International Journal of Behavioral Development*, 24, 451-463.

ARS は 12 項目 (6 心理的機能 x 2 項目の 5 段階評定) からなる.

以下の項目は母親についての評定の場合である. その他の対象についての評定では, 以下の各項目の「母親」をそれぞれ「父親」, 「配偶者」などと入れ替えて用いる. 測定しようとする対象に合わせて, 評定させる対象を変更すればよい. ただし, 最低 4 名について評定させなければ, ARS の特徴は活かせない. 5 ~ 6 名の対象について評定させることが望ましい.

なお, 12 項目は 6 つの心理的機能を記述している. 1. 近接を求める (Proximity seeking); 2. 情緒的支えを求める (Receiving emotional support); 3. 行動や存在の保証を求める (Receiving reassurance for behavior and/or being); 4. 激励や援助を求める (Receiving encouragement and help); 5. 情報や経験を共有する (Sharing information and experience); 6. 養護する (Giving nurturance), の 6 種である. 以下にはどの項目が, どの機能を表現しているかを ( ) 内に示した.

1. 母親が困っている時には助けてあげたい (機能 6)
2. 母親と離れると心に穴があいたような気がするだろう (機能 1)
3. 母親が私の心の支えであってほしい (機能 2)
4. 悲しい時は母親と共にいたい (機能 2)
5. つらい時には母親に気持ちをわかってもらいたい (機能 4)
6. 母親とは互いの悩みをうちあけあいたい (機能 5)
7. 母親が困った時には私に相談してほしい (機能 6)
8. 自信がわくように母親に「そうだ」といってほしい (機能 3)
9. できることならいつも母親と一緒にいたい (機能 1)
10. なにかをする時には母親が励ましてくれるといい (機能 4)
11. 母親とは互いの喜びを分かちあいたい (機能 5)
12. 自信がもてるように母親にそばにいてほしい (機能 3)